

科目名	卒業研究・制作	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	実習80% 講義20%
時間数	240	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

これまでに学んだファッションに関する様々な事項を基に市場や商品に独自の視点を確立し、企画からビジネスに至る事項をマーケティングを考慮しながら総合的に組み合わせたビジネスプランが提案できる。
また、企画から実物作品の製作、プレゼンテーション書類を作成する。

【科目の概要】

任意に立案したビジネスプランを基に企画や製造に関わる事項の調査、研究を行い、実物作品の制作、プレゼンテーション書類を作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1,2	企業コラボ作品製作	61,62	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
3,4	企業コラボ作品製作	63,64	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
5,6	企業コラボ作品製作	65,66	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
7,8	企業コラボ作品製作	67,68	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
9,10	企業コラボ作品製作	69,70	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
11,12	まとめ	71,72	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
13,14	卒業研究・制作	73,74	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
15,16	卒業研究・制作	75,76	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
17,18	卒業研究・制作	77,78	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
19,20	卒業研究・制作	79,80	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
21,22	卒業研究・制作	81,82	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
23,24	卒業研究・制作	83,84	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
25,26	卒業研究・制作	85,86	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
27,28	卒業研究・制作	87,88	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
29,30	卒業研究・制作	89,90	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
31,32	卒業研究・制作	91,92	中間発表
33,34	中間発表	93,94	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
35,36	卒業研究・制作	95,96	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
37,38	卒業研究・制作	97,98	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
39,40	卒業研究・制作	99,100	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
41,42	卒業研究・制作	101,102	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
43,44	卒業研究・制作	103,104	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
45,46	卒業研究・制作	105,106	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
47,48	卒業研究・制作	107,108	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
49,50	卒業研究・制作	109,110	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
51,52	卒業研究・制作	111,112	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
53,54	卒業研究・制作	113,114	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
55,56	卒業研究・制作	115,116	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
57,58	卒業研究・制作	117,118	卒業研究・制作 上田学園コレクション等
59,60	前期末プレゼンテーション評価会	119,120	後期末プレゼンテーション評価会

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布
『洋裁』服飾手帖社刊

【教材・教具】

実習用具一式 製図用具一式 筆記用具 コンピュータなど

科目名	卒業論文	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	240	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

大学生の卒業論文にあたる「研究論文」作成の指導を通して、論理的思考、研究、調査、文章作成方法などを習得する。

【科目の概要】

任意に設定した「研究論文」テーマの個人面談、先行研究の通読、研究調査資料の作成、文書作成、必要に応じ特別講義などを実施する。なお、授業は「文書作成」と「研究調査資料作成」の二つに分け、それぞれの教員により指導する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	年間予定 論文とは 卒業生の論文通読 マインドマップ 文書トレーニング 論文演習① 論文タイトル 「テーマ」+「問い」 論文演習② 専門用語の定義		61 後期予定 経過チェック 論立ての背景 研究目的 仮説の再検証 調査票質問項目 実施計画 本論中盤の執筆 調査実施と集計、分析
20	先行研究の要約 論文演習③ 参考文献について 論文演習④ 「問い」作成 (はじめに・問題の背景) 論文演習⑤ 「目次」「キーワード」作成		80 調査結果の図、グラフ作成 本論後半の執筆 調査結果のまとめ 結論と残された課題のチェック
40	論文演習⑥ 調査方法とデータについて 「研究論文」中間発表 パワーポイント準備 「研究論文」中間発表		100 研究論文まとめ(アッセンブリー) 校 推敲と清書 後期末プレゼンテーション評価会 プリントアウト、製本
60	前期試験		120 後期試験

【成績評価方法】

出席10% 試験(口頭試問)30% 課題60%

【教科書・参考書】

『この一冊できちんと書ける！論文レポートの基本』日本実業出版社(2012/2/23)

【教材・教具】

筆記用具 コンピュータ 研究資料など
画像投影用TVモニター

科目名	ファッションビジネスプランニングII	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 60% 実習 40%
時間数	120	作成者	太田 博

【科目の到達目標】

ファッションマーケティング、ファッションマーチャンダイジングのBASEを基に、多面的な見方駆使し、事業プランニングや事業戦略の企画立案を出来るようにする。

【科目の概要】

商品企画の研究及び各種経営手法の研究を通し、より実践的な商品企画や事業企画を身につける。また、題材指定による企画書作成等により、Needsに合わせた提案力にもみがきをかける。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1,2	戦略思考 ビジネスモデル事例研究		31,32 経営とは ビジネスモデル事例研究
3,4	戦略思考 ビジネスモデル事例研究		33,34 経営とは ビジネスモデル事例研究
5,6	ビジネスプランニングの概要		35,36 論理思考 ビジネスモデル事例研究
7,8	ビジネスプラン1 企画書類作成①		37,38 論理思考 ビジネスモデル事例研究
9,10	ビジネスプラン1 企画書類作成②		39,40 ビジネスプラン2 草案作成
11,12	ビジネスプラン1 企画書類作成③		41,42 ビジネスプラン2 草案面談
13,14	ビジネスプラン1 企画書類作成④		43,44 ビジネスプラン2 草案面談
15,16	ビジネスモデル講義		45,46 ビジネスプラン2 書類作成①
17,18	ビジネスモデル事例研究		47,48 ビジネスプラン2 書類作成②
19,20	ビジネスプラン2 企画書類作成①		49,50 ビジネスプラン2 書類作成③
21,22	ビジネスプラン2 企画書類作成②		51,52 ビジネスプラン2 書類作成④
23,24	ビジネスプラン2 企画書類作成③		53,54 ビジネスプラン2 書類作成⑤
25,26	ビジネスプラン2 企画書類作成④		55,56 ビジネスプラン2 書類作成⑥
27,28	ビジネスプラン プレゼン発表		57,58 ビジネスプラン プレゼン発表
29,30	前期まとめ講義 前期試験		59,60 後期まとめ講義 後期試験

【成績評価方法】

課題 60% 試験 30% 出席率、授業態度 10%

【教科書・参考書】

田所正幸「企業の科学—スタートアップサイエンス—」日経BP社

【教材・教具】

筆記用具 パソコン

科目名	ファッションデザイン&プランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	三谷和也

【科目の到達目標】

3Pにて修得した、知識、PC技能等を生かし、より実践に近いプランニングとデザインを思考再現するためのドリルとスキルの確認。現在のアパレル企業に即戦力を持って挑めるような力を身につける。

【科目の概要】

変化する消費者の価値観を捉え、マーケティング的視点でアパレル商品をトータルにデザインする。より一層のuPC技術の修得とブランド作成における必要なスキルと知識を習得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ブランド企画の進行説明		31 他の先生とのコラボレーション授業
2	ブランド企画の進行説明		32 他の先生とのコラボレーション授業
3	新しいブランドのあり方		33 他の先生とのコラボレーション授業
4	ハンイラの復習		34 他の先生とのコラボレーション授業
5	各自ブランドをセレクト		35 他の先生とのコラボレーション授業
6	現存するブランの分析		36 他の先生とのコラボレーション授業
7	各自ブランドをセレクト		37 他の先生とのコラボレーション授業
8	フォト色付けの復習		38 他の先生とのコラボレーション授業
9	セレクトしたブランドの分析		39 他の先生とのコラボレーション授業
10	セレクトしたブランドの分析		40 他の先生とのコラボレーション授業
11	ブランドアーカイブを作成		41 他の先生とのコラボレーション授業
12	ブランドアーカイブを作成		42 他の先生とのコラボレーション授業
13	ブランドの実績等を分析		43 他の先生とのコラボレーション授業
14	ブランドの実績等を分析		44 他の先生とのコラボレーション授業
15	過去3年のイメージマップ作成		45 マーケトリサーチの実践
16	過去3年のイメージマップ作成		46 マーケトリサーチの実践
17	ドローイングの復習		47 マーケトリサーチの実践
18	グーグルプレゼンの練習		48 マーケトリサーチの報告書作成
19	グーグルプレゼンの練習		49 マーケトリサーチの報告書作成
20	昨年2019のAW,SS素材マップ作成		50 論文における資料の整理
21	昨年2019のAW,SS素材マップ作成		51
22	昨年2019のAW,SSカラーマップ作成		52
23	昨年2019のAW,SSカラーマップ作成		53
24	昨年2019のAW,SSデザインマップ作成		54
25	昨年2019のAW,SSデザインマップ作成		55
26	昨年2019のAW,SS ACマップ作成		56
27	昨年2019のAW,SS ACマップ作成		57
28	プレゼンテーション		58
29	プレゼンテーション		59
30	基本知識テスト		60 基本知識テスト

【成績評価方法】

出席率10% 課題60% 試験30%

【教科書・参考書】

必要に応じてプリント配布 椎塚 武(ファッション業界戦略地図)

『スタイリングブック』グラフィック社

【教材・教具】

筆記用具 描画用具 ケント紙 ペン マーカー PC

配布レジュメ 講義内容をプロジェクタで投影

科目名	リーダーシップ論 トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 50% グループワーク50 %
時間数	30	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

アパレル業界のリーダーをすると各部門のチームをまとめるスキルが必要となります。リーダーシップについての事例に基づいて講義とグループワークにて学びます。到達目標として「良いブランドチーム作る方針発表」をプレゼンテーションにて成果を発表。

【科目の概要】

就職前に習得しなければいけない知識として、チームをまとめる上でのマネージメントスキルです。リーダーシップ論として、アパレルメーカーに就職した後、現場で役立つような実戦的な内容となっています。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ・アパレル業務の各部門の目標設定
- 2 ・人を動かすリーダーになるポイント
- 3 ・バランス・スコアカード(目標設定)
- 4 ・PDCAサイクル(マネジメントサイクル)
- 5 ・マズローの欲求5段階説
- 6 ・KPI(重要業績評価指標)
- 7 ・ドラッカーのリーダーシップ論
- 8 ・D・カーネギー(人を動かす)
- 9 ・ランチェスター戦略
- 10 ・孫子の兵法(弱くても勝てる)
- 11 ・フランクリン・コヴィー・7つの習慣
- 12 ・ナポレオン・ヒル・思考は現実化する
- 13 ・プレゼンテーションについて
- 14 ・プレゼンテーション
- 15 ・フィードバック

【成績評価方法】

プレゼンテスト50%、提供課題40%、授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

プリントを配布

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	実習80% 講義20%
時間数	90	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

大学生の卒業論文にあたる「研究論文」作成の指導。および、卒業制作のテクニカルなサポートを通して、学生自身の集大成となる成果物を制作する。

【科目の概要】

学科の最終年次の「就職活動」「学内イベント」「卒業制作」「研究論文」に関する時間。基本的には「研究論文」に必要な項目ごとのレクチャーや実践を通して、提出までのスケジュール管理をする。適宜その他の活動や制作のサポートを行う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期	
1	年間予定	論文とは 卒業生の論文を読んでみる	16	「はじめに」 問題の背景
2		文書トレーニング①	17	
3		文書トレーニング①	18	「はじめに」 研究目的
4		論文演習① 論文タイトル「テーマ」+「問い」	19	
5		論文演習② 専門用語の定義	20	「はじめに」 仮説
6		先行研究の要約 プレタ	21	
7		先行研究の要約 プレタ	22	「研究」
8		論文演習③ 参考文献について。	23	
9		論文演習④ 「問う」作成 (はじめに・問題の背景)	24	「結果」
10		発表	25	
11		論文演習⑤ 「目次」「キーワード」作成	26	「考察」
12		論文演習⑥ 調査方法	27	
13		調査	28	「考察」
14		「研究論文」中間発表 準備 パワーポイント	29	
15		「研究論文」中間発表 前期試験	30	上田学園コレクション 作品・論文「結論」
			31	
			32	上田学園コレクション 作品・論文制作「結論」
			33	
			34	研究論文まとめ(アッセンブリー)校正
			35	
			36	研究論文まとめ(アッセンブリー)校正
			37	
			38	研究論文まとめ(アッセンブリー)校正
			39	
			40	後期末プレゼンテーション評価会
			41	
			42	後期末プレゼンテーション評価会
			43	
			44	口頭試問準備
			45	口頭試問準備

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布・適宜資料

【教材・教具】

筆記用具・PC・モニター・ファイル(A4)・実習系用具

科目名	海外研修II	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期末 8日間
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】
 研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。
 帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

【科目の概要】
 学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。
 更に世界のトップブランドの生産工場見学で、川上から川下までの全体像を窺う。
 また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 研修施設での講義受講 (装飾美術館・現地ファッションスクールでの授業)
- 2 研修施設での講義受講 (現地ファッションスクールでの授業) グッチミュージアム鑑賞
- 3 研修施設での (現地ファッションスクールでプレゼンテーション) 市街地リサーチ
- 4 研修先 (クラッチバッグの生産工場見学・現地ファッションスクールの視察) 市街地リサーチ
- 5 研修先 (ウフィツィ美術館鑑賞) 施設リサーチ
- 6 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 7 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 8 発表 (海外研修報告会)

【成績評価方法】
 研修後のリサーチ課題発表 100%

【教科書・参考書】

【教材・教具】
 筆記用具 カメラ コンピュータなど